

第39回ゆうゆうクラブ

< 大谷資料館 2024 秋 >

8年前、2016年10月のゆうゆうクラブは、秋色に染まる街路樹に沿って宇都宮市内を街歩きし、大谷石の代表的建造物である教会や、大谷石の蔵を利用した和食レストランでランチしたことが思い起こされます。今回の第39回ゆうゆうクラブは10月31日に、その大谷石の採掘場跡地につくられた「大谷資料館」を訪れました。数日前から小雨の曇り日が続き、天候を心配していましたが、幸いなことに雲もなく無風で、清々しい好日となりました。

当日は、宇都宮駅に25名が集合し、路線バスで30分、大谷資料館へ。「広さ2万平方メートル深さ30メートルの巨大建造物を思わせる景観は圧巻で、映画やドラマの撮影場所ともなっています。」との案内文の通り、薄暗く野球場がひとつ入る大きさの空間は雄大かつ神秘的でした。大正から昭和初期の手掘り後が規則正しく刻まれた壁、昭和後期の機械掘りの爪痕が残る壁など、当時の採掘の様子が伺い知れました。

午後には、宇都宮市内に戻り、ホテルの一角でビールや日本酒を飲みながら豪華な会席料理をいただきました。退職してから10年以上たった人が殆どとなりましたが、参加された皆さんは懐かしそうに楽しく歓談されていました。15時には解散し、連れ立って駅方面へ。一部の人たちは二荒山神社にお参りし、餃子の名店で再度、盛り上がり夕刻には家路につきました。

(ゆうゆうクラブ幹事 栃木 弘 記)





